



保護者の負担…

8月4日に開催された第2回学校運営協議会では、前回に引き続き、お金の話をしました。憲法において無償（すなわちタダ）とされている義務教育ですが、保護者の方に金銭面での負担をしてもらっているのが現状です。

本校でも以下のような状態になっています。

①給食費	年間58,200円（1/2年生）	年間56,520円（3年生）
②修学旅行費	68,200円（昨年度3年生）	
③宿泊研修費	18,150円（昨年度2年生）	
④実習・教材費	4,067円（1年生）	4,255円（2年生）
	1,614円（3年生）	
⑤補助教材費	6,070円（1年生）	6,920円（2年生）
	6,600円（3年生）	
⑥学力テスト代	1,080円（3年生）	
⑦スキー学習（1/2年生 昨年度）		
保険代	100円（+交通費実費負担）	
リフト代	990円は公費負担	
⑧卒業アルバム代（昨年度）	7,800円	★一昨年は、これにスキー遠足が加わりました。
⑨PTA会費	1,800円	（合計1,475円）
⑩文化体育振興費	1,000円	
⑪生徒会費	840円	



保護者にとって大きな負担ですよ。

そこで、国として子どもの教育を受ける権利を保障するため、就学援助制度が用意されています。参考までに小樽市の就学援助制度について、裏面にて紹介しておりますのでご覧ください。

部活動の金銭面での負担が大きい。それが原因で部活ができないという報道を目にしたことがあります。

就学援助や奨学金の手続きが大変なこともあります。情報交換の場や書類作成を手伝ってくれる人がいれば良い。

教材費や実習費を納めない家庭が少なからず出る。その場合、担当が自腹を切ることもあります。

案内の文書を発出しても届かない場合があります。情報が届かずに損をしている場合も…。

校章、制服、辞書、学用品など年に一度、バザーではなく、フリマ感覚で安く手に入れられるようになったら便利です。

小さい子を育てるって大変なこと。気軽に「大丈夫？手伝うよ」って声を掛け合える地域ならいいですよ。

経済的なことだけではなく、先輩ママさんと入学前に情報交換できる場があるといいな、と思いました。入学前に学用品以外の物の情報交換なども。

学校運営協議会が全部行うものではありません。アイデアを出し合い、口コミで広げて子ども達のためにできることを地域全体で考え、地域・PTA・保護者・学校が力を合わせて、朝里中学校のためになる仕組みをつくります。PTAにもアイデアを募ります。忌憚（きたん）のないご意見、大歓迎です。

小樽市の就学援助制度

①どんな保護者が援助を受けられるのか？(世帯収入の基準)

- ・生活保護世帯 ・生活保護が停止又は廃止になった
- ・市民税が非課税又は減免となっている ・個人事業税が全額減免されている
- ・固定資産税が減免されている ・国民年金保険料が減免されている
- ・国民健康保険料が減免されている ・児童扶養手当を受けている
- ・生活福祉資金の貸し付けを受けた



上記に該当しない場合の世帯収入のおおよその目安

世帯人数	世帯構成	目安となる総収入額
2人	父又は母32才 小4年	おおむね300万円以下
3人	父又は母32才 小4年 幼児	おおむね350万円以下
	父35才、母32才、小4年	おおむね330万円以下
4人	父35才、母32才、小4年 幼児	おおむね370万円以下
	父35才、母32才、小5年 小2年	おおむね390万円以下
	父38才、母38才、中2年 小2年	おおむね410万円以下
5人	父41才、母40才、中2年 小2年 幼児	おおむね420万円以下

②どんな内容の援助を受けられるのか？

学用品費	1年	22,730円	年3回に分けて支給
	2・3年	25,000円	1年生以外は通学用品費含む
校外活動費	1～3年	実費	限度額2310円(泊なし)
校外活動費	2年	実費	限度額6210円(泊を伴うもの)
入学準備金	1年	60,000円	
体育用具費スキー	1年	38,000円	柔道着援助の場合未支給
体育用具費柔道着	1年	実費	スキー用具援助の場合未支給
通学費	1～3年	実費	通学距離片道3km以上
修学旅行費	3年	実費	
学校給食費	1～3年	実費	
医療費	学校病と指定されている病気の治療費及び通院費		

他に特別支援学級の生徒には「特別支援教育就学奨励費」があり上記の就学援助制度が受け

られない場合でも世帯収入によって対象となります。